

コンテストへの取組み

取組みのきっかけ

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 平成27年4月、担当教員(野田)が着任
- 情報リテラシー教育の一環として知的財産教育も担当
- コンテストの存在は前職時代に把握

周知活動の開始

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 情報コミュニケーション学科内で相談
- 事務局、美術科教員への相談

動きやすいことは
小規模大学の利点

- 希望する学生数の予測が困難

⇒ある程度ターゲットを絞って周知

⇒授業の合間の短い時間を使って周知

周知活動の狙い

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 人文系の学生に対して
 - 情報リテラシーの一環として知的財産権制度に関心を持ってもらいたい
- 芸術系の学生に対して
 - 生み出した作品を適切に保護して活用する意識を持ってもらいたい
- **結果的にコンテスト応募に繋がらなかったとしても、知的財産制度の存在や、教員の存在を知ってもらうことが重要**

人文系

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 情報コミュニケーション学科1年生(約130名)向け
- 必修授業のタイミングを利用して周知



芸術系

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 美術科デザイン専攻の学生向け
- 特定の授業の受講者(約50名)を対象

